

コンクリート、碎石と脱炭素

近年、都市再開発が活発化する中で、建設業界における資源循環とCO₂削減は、もはや避けては通れない課題となっている。

特に、建設現場から大量に発生するコンクリートや、分別が困難な建設廃棄物のリサイクル、そしてセメント製造時に排出される膨大なCO₂の削減は、業界全体で取り組むべき重要なテーマと言えるだろう。こういった課題解決に事業者自身が向き合い、取り組みを進めるため、5社が業界を横断して「コンソーシアム」を立ち上げた。

複数の企業が横断的に連携

コンソーシアムを立ち上げたのは、建設現場から発生するコンクリートや、分別が困難な建設廃棄物のリサイクル、そしてセメント製造時に排出される膨大なCO₂の削減は、業界全体で取り組むべき重要なテーマと言えるだろう。こういった課題解決に事業者自身が向き合い、取り組みを進めるため、5社が業界を横断して「コンソーシアム」を立ち上げた。

建設処理業界が抱える二つの大きな問題

建設廃棄物のリサイクル。再生砕石の活用が、建設現場から発生するコンクリートや、分別が困難な建設廃棄物のリサイクル、そしてセメント製造時に排出される膨大なCO₂の削減は、業界全体で取り組むべき重要なテーマと言えるだろう。こういった課題解決に事業者自身が向き合い、取り組みを進めるため、5社が業界を横断して「コンソーシアム」を立ち上げた。



リサイクル素材を用いて製造して作成したコンクリート舗装

処理業者や建材メーカーが横断的に連携



リサイクル素材を用いて製造して作成したインターロッキングブロック舗装

事などで使用される需要、処分量の削減が必要となり、資源循環とCO₂削減は、もはや避けては通れない課題となっている。建設現場から発生するコンクリートや、分別が困難な建設廃棄物のリサイクル、そしてセメント製造時に排出される膨大なCO₂の削減は、業界全体で取り組むべき重要なテーマと言えるだろう。こういった課題解決に事業者自身が向き合い、取り組みを進めるため、5社が業界を横断して「コンソーシアム」を立ち上げた。

あえてJIS規格外を選択

そのためには、コンソーシアムのメンバーが、JIS規格外の材料を選択することによって、CO₂削減を実現する。これは、建設現場から発生するコンクリートや、分別が困難な建設廃棄物のリサイクル、そしてセメント製造時に排出される膨大なCO₂の削減は、業界全体で取り組むべき重要なテーマと言えるだろう。こういった課題解決に事業者自身が向き合い、取り組みを進めるため、5社が業界を横断して「コンソーシアム」を立ち上げた。

それぞれの専門分野を生かして

コンソーシアムを構成する5社は、それぞれが持つ専門分野を生かして、CO₂削減を実現する。これは、建設現場から発生するコンクリートや、分別が困難な建設廃棄物のリサイクル、そしてセメント製造時に排出される膨大なCO₂の削減は、業界全体で取り組むべき重要なテーマと言えるだろう。こういった課題解決に事業者自身が向き合い、取り組みを進めるため、5社が業界を横断して「コンソーシアム」を立ち上げた。



再生砕石の製造を行うKAIXIAのプラント

「当社では、再生砕石製品はコスト高という課題が常に付きまとうが、このコンソーシアムでは、参加企業が連携して、CO₂削減を実現する。これは、建設現場から発生するコンクリートや、分別が困難な建設廃棄物のリサイクル、そしてセメント製造時に排出される膨大なCO₂の削減は、業界全体で取り組むべき重要なテーマと言えるだろう。こういった課題解決に事業者自身が向き合い、取り組みを進めるため、5社が業界を横断して「コンソーシアム」を立ち上げた。